



# 桜台小だより



〒252-0321

相模原市南区相模台7-7-1

TEL 042-742-3674

FAX 042-741-7991

学校長 宇田川 真美

令和 3年 9月 1日 9月号

<http://www.sagamihara-sakuradai-e.ed.jp/>

## 2学期が始まりました。学びの充実と新型コロナウイルス感染症拡大防止の両立に向けて……。

新型コロナウイルス感染症により延期されていた東京オリンピックが終わりました。多くのアスリートが感動を届けてくれた中、感染症は着実に拡がりを見せ、東京も神奈川も医療がひっ迫しています。

例年、学校における2学期は学習や行事で充実した日々となるものですが、今年は残念ながら臨時休業から始まりました。懇談会や修学旅行、自然体験宿泊学習（若あゆ）、遠足、運動会、学校へ行こう週間……。子どもたちや保護者の皆様、そして教職員にとって大切な行事や学習は、延期や縮小等をして行います。状況によっては中止も視野に入れなければならないと覚悟もしております。地域の皆様と共にある桜台美術館の延期も続けます。さらには、感染状況が悪化した場合、学級閉鎖や学校閉鎖も考えられます。発熱や風邪症状が子どもやご家族に少しでもみられるときは、登校の見合わせをしていただき、地域全体で学校の学びが続くようご協力をお願いします。

前回の学校便りでお伝えしたツバメの巣ですが、その後、3羽の赤ちゃんが生まれ、夏休み中はせっせと子育てが行われていました。日々、成長し、親鳥は餌集めに奔走していました。お盆が終わった18日には巣立った様子で、巣だけが静かに残っておりました。

さあ、次は、桜っ子の育つ番です。

子どもたちには『この2学期は心・頭・体を鍛えることが大事である。』と伝えました。学校生活では人に対する礼儀や思いやり、つまり心が試されます。内容も豊富な2学期の学習は教科ごとの見方や考え方を働かせる、つまり頭の深化が求められます。学齢に応じた体格ができあがるこの時期は、体の成長が顕著となります。

コロナ禍であっても、子どもたちは成長を続けます。私たち教職員は、日々育ち続けるひな鳥を育てる親鳥のように、心を込めて指導を続けたいと思っております。何かと不自由になることが想定される2学期ですが、改めて、ご協力をお願いします。

### 夏休み中のツバメの巣

7月30日(金)

小さな顔がのぞきます



8月6日(金)

親鳥を待ってくちばしを開けています



8月18日(水)

巣立ちました

